

平成31年度職業能力開発総合大学校総合課程一般入学試験 理科（物理）における出題ミスについて

公表にあたって

このたび、平成31年2月に実施いたしました、平成31年度一般入試 理科（物理）の問題に出題ミスがあることが判明いたしましたので、下記のとおり公表いたします。

受験者の皆様をはじめ関係の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

この事実を厳粛に受け止め、深く反省するとともに、影響を受けた受験者の対応と再発防止に取り組んでまいります。

1. 入試概要

- ・入試方法区分：平成31年度一般入学試験
- ・試験実施年月日：平成31年2月14日（木）
- ・合格発表日：平成31年2月28日（木）
- ・ミスのあった科目：理科（物理）

2. 入試ミスの内容

- ・該当する問題：物理問題2（別紙1参照） 配点25点
- ・ミスの内容：問題において示したグラフで、摩擦面における等加速度直線運動が適切に示されていないかった。（別紙2参照）

3. 出題ミス発見の経緯

令和元年7月18日、外部から、平成31年度一般入試の理科（物理）に関して問題において示されたグラフが不正確であるため、解答を導くことが困難ではないかとの指摘があった。これを受け、7月19日、直ちに校長へ報告するとともに、学生部長及び問題取りまとめ責任者等により慎重に検討を重ねた結果、出題ミスがあったことが判明した。

4. 対応

出題にミスがあったことから、当該問題を廃問とし、残りの問題を100点満点とする扱いとした。

判明後、入試委員会において7月24日までに、全物理受験者の採点をやり直した上

で、7月25日に改めて合格者判定を行った。

これらを踏まえ、受験者7名を新たに合格者とし、入学希望者には本来合格するはずであった専攻へ入学いただく。

- ・電気専攻4名
- ・電子情報専攻2名
- ・建築専攻1名

5. 新合格者への周知方法

新合格者に対しては、本日より電話で連絡するとともに文書にても周知する。

6. チェック体制について

問題作成段階においては、複数の作問委員により5回にわたりチェックを行ったが、ミスの発見には至らなかった。

7. 今後の対応策

今回の事態を重く受け止め、再発防止を徹底するため、学内において、外部有識者を交えた再発防止委員会をすみやかに立ち上げ、入試問題作成過程の手続き等の検証、問題点の洗い出し及び改善策の検討等を行う。

職業能力開発総合大学校長のお詫びの言葉

関連資料

- ・別紙1 当日試験問題（物理問題2）
- ・別紙2 解説

【お問合せ】

職業能力開発総合大学校
学生課
電話 042-346-7624

【お問合せ】

企画部情報公開広報課
電話 043-213-6206

職業能力開発総合大学校長のお詫びの言葉

このたび、本学の平成31年度一般入試における出題ミスがあったことが判明いたしました。

入学試験問題の作成については、特に細心の注意を払ってきたところですが、今回ミスが生じたことで受験者の皆様をはじめ、関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

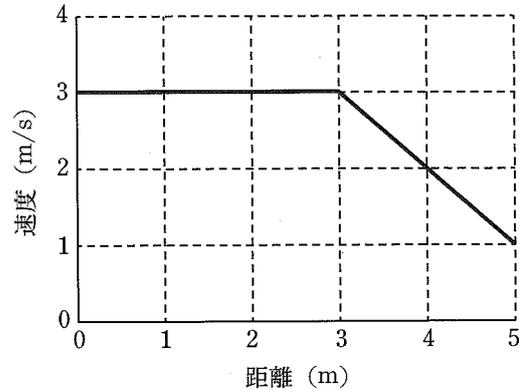
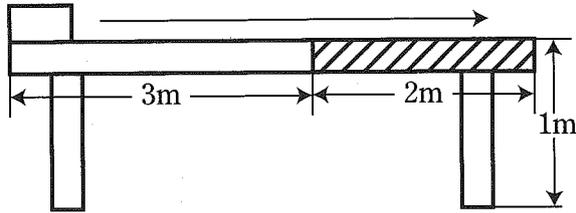
本学は、新たに合格された皆様に対しまして、共に最善の方法を検討し、全力を挙げ、誠意をもって対応していく所存であります。

今後、二度とこのようなミスが発生しないよう、全学をあげて再発防止に取り組み、信頼回復に努めてまいります。

令和元年8月5日

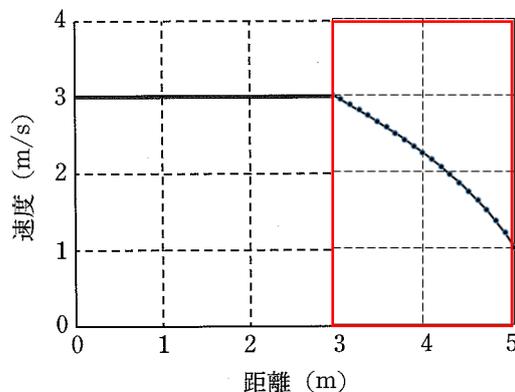
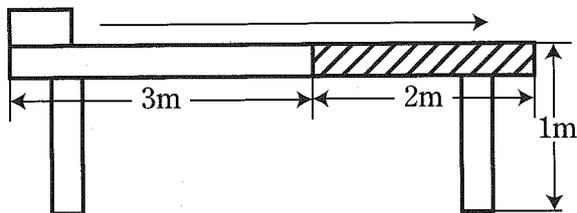
圓 川 隆 夫

2. 滑らかな面と粗い面を有する高さ 1 [m] の図のような机がある．この机の左端から質量 2 [kg] の物体を矢印の方向に滑らせ，机の上から落下した．このとき物体が机の上を進んだ距離と速度の関係をグラフに示す．重力加速度を $g = 9.8$ [m/s²] としたとき，以下の問いに答えなさい．



- 問 1. 机の粗い面を通過する間に，摩擦力が物体にした仕事を求めなさい．
- 問 2. 物体と粗い面の間での動摩擦力を求めなさい．
- 問 3. 粗い面上を運動する時，物体のもつ加速度を求めなさい．
- 問 4. 机の左端から，右端に到達するまでの時間を求めなさい．
- 問 5. 机の上から落ちた物体が，床に到達する直前の運動エネルギーを求めなさい．

2. 滑らかな面と粗い面を有する高さ1[m]の図のような机がある。この机の左端から質量2[kg]の物体を矢印の方向に滑らせ、机の上から落下した。このとき物体が机の上を進んだ距離と速度の関係をグラフに示す。重力加速度を $g = 9.8 \text{ [m/s}^2]$ としたとき、以下の問いに答えなさい。



- 問1. 机の粗い面を通過する間に、摩擦力が物体にした仕事を求めなさい。
- 問2. 物体と粗い面の間での動摩擦力を求めなさい。
- 問3. 粗い面上を運動する時、物体のもつ加速度を求めなさい。
- 問4. 机の左端から、右端に到達するまでの時間を求めなさい。
- 問5. 机の上から落ちた物体が、床に到達する直前の運動エネルギーを求めなさい。

物理試験問題の問2に記載した縦軸が速度、横軸が距離のグラフにおいて、横軸3m～5m間のグラフ形状が、本来であれば、下に向かって放物線を描くようになるべきところを直線の表記になっていたことが判明した。直線の表記にしたことにより、「粗い面」における等加速度運動が適切に示されていなかった。